

令和4年10月23日
今週のベストショット



奈多グラウンド 和白新町パイレーツ 対 奈多サンデーズ

最終戦で先制タイムリーを含む3打数3安打と存在感を示した奈多サンデーズ四番・野々下選手。

写真：塩浜ジャガーズ 馬場 竹治

青松園B ブルーマーリンズ最終戦を勝利で飾る

三苦フレンズ（2勝7敗1分）100001 2 生野（拓）、二宮●、生野（拓）－生野（猛）

ブルーマーリンズ（2勝8敗）03007× 10 中山○－井上（広）

HR：松田（三苦フ） 3BH：中山、糸井（ブルー）

2BH：吉村（雄）2、生野（拓）（三苦フ）坂本、松園2、糸井（ブルー）盗塁：原、中山（ブルー）

三苦フレンズは初回に吉村（雄）選手、生野（拓）選手の2本の二塁打で幸先よく先制点を得るが、生野（拓）選手の負傷があり急遽マウンドには二宮選手が緊急登板するアクシデントが起きた。追いつきたいブルーマーリンズは二回裏、坂本選手のレフトオーバーの二塁打を皮切りに計5本のヒットや相手守備の乱れもあり3点を取り逆転に成功する。三苦フレンズは負傷から復活した生野（拓）選手が3回からマウンドにあがりランナーを出しながらも我慢のピッチングを続ける。またブルーマーリンズ先発中山選手も初回に1点を取られたが二回以降は落ち着いたピッチングを見せ三苦フレンズに立ちはだかる。均衡を破ったのはブルーマーリンズ。五回裏に糸井選手が左中間へ打ち返し相手守備の乱れもあり追加点を得ると打者一巡の猛攻でこの回一挙に7点を追加し試合を有利に進めた。反撃したい三苦フレンズは松田選手にホームランが飛び出すも開いた点数は大きく軍配はブルーマーリンズに上がった。

（写真・記事：新町ウインズ 大久保 浩）



練習を終えた三苦フレンズ。



試合前のヒトトキ。ブルーマーリンズ。



スクランブル登板 三苦フレンズ二宮投手。



痛烈なセンターゴロを放った 三苦フレンズ生野(猛)選手。



ライトへHR!! 三苦フレンズ松田選手。



ナイスプレー!!



投打で大活躍 ブルーマーリンズ中山選手。



シャープなバッティング ブルーマーリンズ松園選手。

青松園A 強打の奈多フェニックス！8安打11得点の大勝！

ソルトベスターズ（5勝5敗）10000 1 江良●ー山の川

奈多フェニックス（6勝4敗）4205× 11 太田○ー実延（新）

HR：西藤、望月（奈多フ） 3BH：能丸（奈多フ） 2BH：望月、安藤（奈多フ）

盗塁：中村（ソルト） 能丸、今林（英）、太田（奈多フ）

ソルトベスターズは一回表、先頭の一番中村選手が内野安打で出塁すると盗塁や相手投手の暴投で三塁まで到達する。続く二番坂井選手はセンターに飛球を放ち、これが犠飛となりソルトベスターズが幸先よく1点を先取る。しかし、1点を追う奈多フェニックスはこちらも先頭の一番望月選手が右中間を大きく破る二塁打を放ち出塁すると、続く二番能丸選手は三振に倒れるも三番今林（英）選手が四球を選び一死一二塁としたところで打席には四番西藤選手。ソルトベスターズ先発の江良投手の投じたインコース低めの鋭い直球を見事に捉え、左中間を弾丸ライナーで突き破る3ランHRを放ち、すぐさまフェニックスが逆転を果たす。フェニックス先発の太田投手は初回こそ失点を許すが、二回以降は無失点の好投。打線も好調で四回裏には望月選手のHR、満塁からの実延（新）選手の2点適時打など一挙5点を奪い10点の差をつけ、フェニックスが今季最終戦をコールド勝ちで飾った。

（記事・写真：雁の巣ライナーズ 明瀬 旭）



奈多フェニックス先発の太田投手。



ソルトベスターズ先発の江良投手。



一回裏、逆転の3ランを放つフェニックス四番・西藤選手。



三回表、二死満塁でのソルトベスターズ四番・江良選手。



四回裏、満塁で2点適時打のフェニックス五番・実延（新）選手。



五回表、珍しく引っ張って左中間へ安打を放つソルトベイスターズ九番・石井監督。

奈多グラウンド 緊迫の投手戦も・・・

和白新町パイレーツ（4勝6敗）001 001 2 岩吉●一朝野
 奈多サンデーズ（5勝4敗1分）100 414X 10 塚本○一野々下

3BH：神田（奈多サ） 2BH：野々下、古賀（開）（奈多サ） 盗塁：古賀（開）、古賀（風）（奈多サ）

いよいよ今季最終戦、試合は暁闇から解放されつつある6時56分に開始。一回表、先攻の和白新町パイレーツは、走者を出すものの無得点。一方の奈多サンデーズは、失策で出塁した二番古賀（開）選手が盗塁。二死二塁で四番野々下選手が中前へ適時打を打ち、1安打で幸先よく先制点を挙げた。パイレーツが反撃に転じたのは三回。この回先頭の九番松藺選手が右前打を放つと、続く小林選手の犠打で得点圏に走者を進めて二番今村選手が右前打、続く三番白岩選手も右前打を放って同点に追いつく。更に四番今泉選手が四球を選び一死満塁の逆転機を迎えたが、サンデーズ塚本投手に後続を断たれ追加点ならず。次に試合が動いたのは四回裏のサンデーズ。失策で出塁した三番江口選手がすかさず二盗、四番野々下選手の右前打で三進すると、五番八島選手が中堅へ犠牲フライを打ち勝ち越しに成功する。さらに四球に失策が重なり、1安打ながらもこの回だけで4点を奪った。続く五回裏にも野々下選手の右中間二塁打で追加点を挙げたサンデーズは、この回終了時点で6-1と完全に試合の主導権を握った。何とか意地を見せたいパイレーツは、六回表に失策で貯めた走者を八番佐々木選手の中前打で返すものの反撃もここまで。六回裏にサンデーズ打線が爆発し、4安打で4点を奪った時点で1時間15分が経過し試合終了となった。三回表のパイレーツの攻撃を凌いだサンデーズが10点を挙げ、今年のリーグ最終戦を見事に締め括った。（記事：塩浜ジャガーズ 高嶺 信彦、写真：馬場 竹治）



試合前の整列、サンデーズナイン。



シンクロしたパイレーツ・二番の二人。



和白新町パイレーツ先発の岩吉投手。



初回出塁したサンデーズ二番・古賀（開）選手。



先制打を放つサンデーズ四番・野々下選手。



犠打を決めるパイレーツ一番・小林選手。



三回表、右前打を放つパイレーツ二番・今村選手。



サンデーズ二番・古賀（開）選手のバッティング。



5点目の生還をするサンデーズ近藤選手。



本塁死守、パイレーツ朝野捕手。



六回表、追撃の生還、パイレーツ岩吉選手。



盗塁を刺しに行くパイレーツ朝野捕手。



試合後のパイレーツ、お疲れ様でした。



完投勝利のサンデーズ塚本投手、代打で三塁打の神田選手、3打数3安打の野々下捕手。